

国際交流 2015

平成27年国際交流報告書



International Exchange
MAIZURU 2015

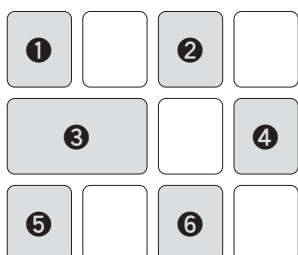
舞鶴市

目 次

姉妹都市・ナホトカ市の概要	P 1
友好都市・大連市の概要	P 2
姉妹都市・ポーツマス市の概要	P 3
京都舞鶴港と対岸諸国とを結ぶ国際航路図	P 4
姉妹都市・ナホトカ市との交流	P 5
友好都市・大連市との交流	P 7
姉妹都市・ポーツマス市との交流	P 12
韓国・浦項市等との交流	P 13
みなとを活かした交流 ～物流編～	P 15
みなとを活かした交流 ～観光編～	P 17
市民主体の国際交流	P 20
舞鶴市国際交流員としての私		
2014年度 舞鶴市国際交流員 崔 銘 哲	P 27
第 28 回大連国際マラソンに参加して	P 32
インターネットのホームページ紹介	P 33

※記載の氏名については敬称を省略させていただき、職名や組織名等は当時のものとさせていただきます。

表紙写真説明



- ①ポーランドで日本語を学ぶ生徒が舞鶴市を訪問し、小学校児童と交流。
- ②舞鶴市青少年訪問団が韓国・浦項市を訪問し、現地中学生と伝統芸能を通じて交流の様子。
- ③舞鶴市レスリング訪問団がロシア・ナホトカ市を訪問し、レスリング大会に出場。
- ④倉梯小学校ワールド教室で児童と交流する鄒悦・舞鶴市国際交流員。
- ⑤中国・天津発着のクルーズ客船マリナー・オブ・ザ・シーズの出港を見送り。
- ⑥中国・大連市で開催された国際マラソン大会に舞鶴市からの代表選手が出場。

姉妹都市・ナホトカ市の概要

1. 姉妹都市提携年月日

1961 (昭和 36) 年 6 月 21 日

2. ナホトカ市との提携の経緯

1956 (昭和 31) 年日ソ共同宣言が調印され、日本とソビエト連邦 (当時) は国交を回復しました。これにより両国の関係は新たな時代を迎え、対岸諸国との経済・貿易交流が大きくクローズアップされる中、平和な港湾工業都市を目指す舞鶴市では、日本海を挟んで対岸のナホトカ市と貿易を通じて親善を深め、日ソ両国の友好強化に寄与しようという機運が高まり、1956 (昭和 31) 年に舞鶴市議会において、ナホトカとの友好関係の拡大を期待する旨の決議が行われました。その後、関係者の協力を得て、1961 (昭和 36) 年 6 月、ドゥボフカ・ナホトカ市長を舞鶴市に迎え、日本とソビエト連邦 (当時) との間で初めてとなる姉妹都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では「日本海を平和の海に」を合言葉に、各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、通信陸上競技会の実施、友好の船の派遣など活発な交流が半世紀以上にわたって展開されました。

3. 人口及び面積

人口：約 15 万 9 千人 (2015 年 1 月現在)

面積：約 325.9 K㎡

4. 都市の概況

ロシア連邦沿海地方の南東部 (東経 133 度北緯 43 度) に位置するナホトカ市は、舞鶴市と同様に天然の良港を有する国際港湾都市です。19 世紀半ば過ぎにロシアの軍艦「アメリカ号」が偶然発見したのが都市の起源であり、「ナホトカ」には、ロシア語で「見つけもの」という意味があります。市政の施行は、1950 (昭和 25) 年 5 月 18 日。モンスーン型気候で 1 月の平均気温は -13°C 、8 月の平均気温は 18°C 、年間平均降水量は 740 mm。日本との時差は +1 時間。主な産業は、海上輸送、漁業、石油製品卸、建設業、商業です。また、シベリア鉄道の東端に位置しているため、遠くロシア西部やヨーロッパをも後背地とする重要な物流港です。1971 年には港湾機能の一層の強化に向けて、ナホトカ市の東部にポストーチヌイ港が建設され、1990 年には自由経済区として指定を受けました。また、「東シベリア・太平洋石油パイプライン」の建設に

あたり、石油積み出し基地がナホトカ湾南東部に位置するコジミノ湾に建設されました。なお、1967 年から 1993 年までは日本国総領事館が開設されていました。民族構成は、スラブ・アルメニア・グルジア・朝鮮系等となっています。

5. ナホトカ市の姉妹都市

舞鶴市・敦賀市・小樽市 (日本)、吉林市 (中国)、東海市 (韓国)、オークランド市・ベリンガム市 (アメリカ)、ブーケット州 (タイ)

6. シンボルマーク

全体は楕形を成し、上部、左右の 3 つの部分から構成されています。上部は勇氣と愛を象徴する赤色、左側は海を表し栄光と名誉を象徴する青色、右側は林を表し自由と希望を象徴する緑色となっています。中心部は港と航海を象徴する錨を表し、智恵と警戒心を象徴する蛇がからみついています。



▲ナホトカ市 シンボルマーク



▲ナホトカ市庁舎

友好都市・大連市の概要

1. 友好都市提携年月日

1982 (昭和 57) 年 5 月 8 日

2. 大連市との提携の経緯

舞鶴市においては、地理的な条件や引き揚げ等の歴史的な経過から、中国大連市 (当時旅大市) との友好交流を望む市民の声が強く、関係者の地道な努力が続けられる中、1974 (昭和 49) 年に、大連市を訪問した佐谷・舞鶴市長 (当時) が友好都市の提携について提案を行いました。しかし、国情の違いもあり急速な進展は見られませんでした。しかし、その後 1978 (昭和 53) 年の日中平和友好条約の締結により両国の交流が本格化するとともに、舞鶴市としても機会のある毎に友好都市提携実現に向け、関係機関への働きかけや経済・貿易関係の交流を積極的に展開。その結果、1982 (昭和 57) 年 5 月、舞鶴市において崔栄漢・大連市長 (当時) を迎え、友好都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、友好の船の派遣など活発な交流が展開され、2012 (平成 24) 年には、友好都市提携 30 周年を迎えました。

3. 人口及び面積

人口 : 約 594 万 3 千人 (2015 年 3 月現在)

面積 : 12, 574 K m²

4. 都市の概要

中国東北部遼東半島最南端に位置し (緯度は日本の山形県酒田市とほぼ同じ)、東は黄海、西は渤海、南に海を隔てて山東半島を望む港湾工業都市。温和な海洋性気候に恵まれ年間平均気温は約 10℃、日本との時差は - 1 時間です。大連港は中国東北 3 省と内モンゴル自治区を経済的な後背地とした重要港湾で、三方を海に囲まれその海岸線は 1, 906 k m、周辺の島は大小併せて 130 余りにのぼります。1899 年にロシア人が大連港の建設を開始したのが都市としての始まりで、古くから造船・石油化学など重工業の拠点でしたが、改革開放後、中国東北地方振興政策のもと、1984 年に「沿海開放都市」、1985 年には省・自治区並みの独立した権限を持つ「計画単列都市」として認可され、東北地方においていち早く市場経済化に取り組みました。90 年代からは日系を中心とする外資系製造業の誘致に成功するとともに、近年は海外 IT 企業の進出も目覚ましく、環境技術の導入にも力を入

れており、中国の都市としては、上海等に続いて国際的に存在感を高めつつあります。一方、観光産業における発展も目覚ましく、「アカシア祭り」・「国際ファッション祭り」・「国際マラソン大会」・「春節花火大会」など四季を通じて大型イベントが開催されています。また、2010 年 2 月には、軍港があるため外国人の立ち入りが制限されていた旅順港地区において、海外からの投資と外国人観光客の受け入れが開始され、現在、多くの観光客で賑わっています。

5. 大連市の友好都市

舞鶴市・北九州市 (日本)、ブレーメン市・ロストック市 (ドイツ)、グラスゴー市 (イギリス)、ル・アーヴル市 (フランス)、オークランド市 (アメリカ)、ウラジオストク市 (ロシア)、ポワントノワール市 (コンゴ共和国)

6. シンボルマーク

サッカーのまちとして、中国のプロサッカーリーグで活躍しているチームのフランチャイズがあるほど、多くの市民がサッカーに関心を持ち楽しまれており、大連のシンボルマークの中にもサッカーボールが組み込まれています。



◀大連市
シンボルマーク



▲大連市人民広場

姉妹都市・ポーツマス市の概要

1. 姉妹都市提携年月日

1998 (平成 10) 年 5 月 15 日・27 日

2. ポーツマス市との提携の経緯

1993 (平成 5) 年、赤れんが博物館にポーツマス市から 18 世紀の海軍倉庫のレンガが寄贈されたのを機に交流が始まり、翌年には舞鶴市政記念館の開館に併せ、A・バーネット・ポーツマス市名誉市長 (当時) が来訪し、同市紹介の講演を行いました。その後、行政間の交流が積み重ねられ、1996 (平成 8) 年には舞鶴市のボーイスカウト 20 名がポーツマス市を訪問し市民間の交流が始まり、1998 (平成 10) 年にはポーツマス市のスカウトが舞鶴市を訪問しさらなる友好を深めました。1997 (平成 9) 年にポーツマス市議会の「政策・資源委員会」において舞鶴市との姉妹都市提携の確立について採択され、同年 7 月にはポーツマス市の招待により舞鶴市議会訪問団が同市を訪問し、相互理解を図りました。そして同年 10 月には、舞鶴市議会において「ポーツマス市との姉妹都市締結に関する決議」が採択され、ポーツマス市からの代表団を迎え、姉妹都市の提携について具体的な協議がされました。1998 年 (平成 10 年) 5 月 15 日にポーツマス市において両市の市長・議長が提携書に署名。同月 27 日に舞鶴市で再度署名して姉妹都市提携を行いました。以来今日まで、両市の間では、各種訪問団の相互派遣をはじめ、ポーツマス英語研修事業などの交流が展開され、2013 (平成 25) 年には、姉妹都市提携 15 周年を迎えました。

3. 人口及び面積

人口：約 20 万 9 千人 (2014 年中期現在)

面積：約 40 Km²

4. 都市の概況

英国南部のイギリス海峡に面した港湾観光都市。ロンドンの南西部 110 km に位置し、1927 年に市制を施行しましたが、ポーツマス市の起源は 1194 年にリチャード 1 世の憲章にはじまり、800 年余の古い歴史を持ちます。英国のみならずヨーロッパでも有数のリゾート地として、多くの博物館や観光施設を有し、花のまちづくりコンテストで英国第 2 位となったこともある美しいまちです。英国海軍の主要基地としての伝統があり、ネルソン提督で有名なビクトリー号、ビクトリア時代のウォリアー号などの艦船等が保存されているポーツマスヒストリックドックヤードは、主要な観光施設の一つです。近年では、港湾地区の再開発が進められており、展望タワー、商店街、映画等複合娯楽センター、宿泊施設等からなる新たな大規模観光地区「ガンワーフ・キー」が注目を集めています。

5. ポーツマス市の姉妹都市

舞鶴市 (日本)、カーン市・トゥーロン市 (フランス)、デュースブルク (ドイツ)、ハイファ市 (イスラエル)、レイクウッド市、ポーツマス 3 市 (アメリカ・ロードアイランド州、ニューハンプシャー州、バージニア州)、シドニー市 (オーストラリア)

6. シンボルマーク

正式なシンボルマークは①ですが、最近では、簡略化された②が使用されています。②は①の中心部からとったものです。



▲ポーツマス市
シンボルマーク①



▲ポーツマス市
シンボルマーク②

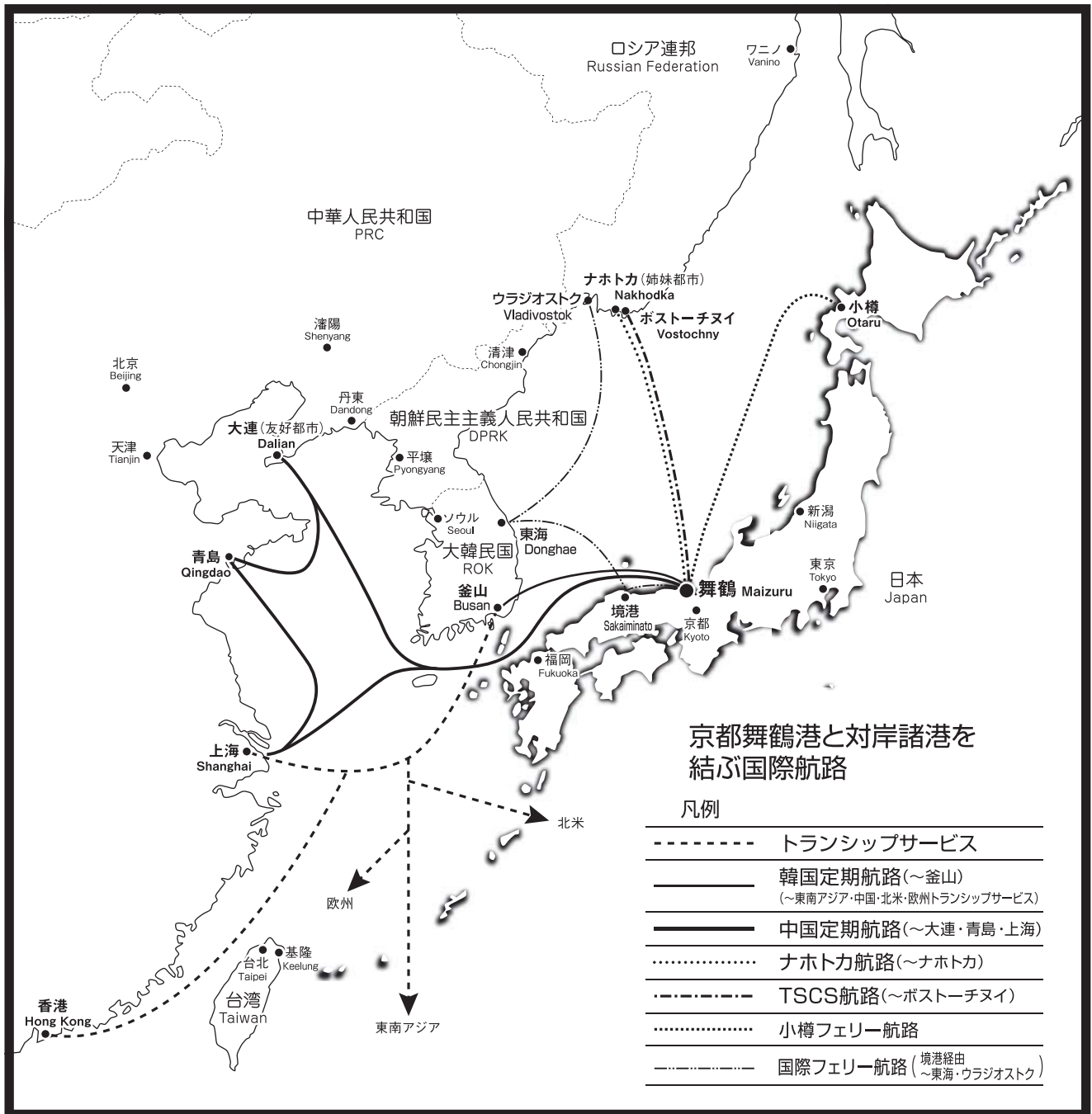
7. コナン・ドイルが描いた「シャーロック・ホームズ」とポーツマス市

不朽の名作といわれている「シャーロック・ホームズ」の生みの親であるコナン・ドイルは、1859 年に京都府の友好都市である英国エディンバラ市で生まれました。エディンバラ大学で医学を学んだドイルは医者として、1882 年にポーツマス市サウスシー地区で開業。本業の傍ら探偵小説に興味のあったドイルは、ここでホームズ・シリーズ処女作である「緋色の研究」を書き、1887 年に発表しました。いわば、ポーツマスがシャーロック・ホームズ “生誕のまち” であり、ドイルは 1930 年にその生涯を閉じるまで、実に 60 作品ものホームズ・シリーズをこの世に送り出しました。



▲ポーツマス・ギルドホール

京都舞鶴港と対岸諸国を結ぶ国際航路図



姉妹都市・ナホトカ市との交流

5月21日

第52回 舞鶴・ナホトカ通信陸上競技会が開催

1964(昭和39)年から続いている「舞鶴・ナホトカ通信陸上競技会」が開催。この大会は、毎年、舞鶴市とナホトカ市の陸上競技において、毎年、各種目の記録を交換しているもので、試合種目は100m～5,000mの各トラック競技、リレー、走り幅跳び、砲丸投げ、槍投げなど12種目で記録が交換されました。

8月23～27日

第25回日ロ沿岸市長会議へ参加、ナホトカ市を訪問

ロシア連邦・ウラジオストク市において開催された第25回日ロ沿岸市長会議に舞鶴市から多々見市長ほか1名が参加。この会議には日本側から9市の代表が、ロシア側からはナホトカ市をはじめ14市の代表が参加し、両国間の諸都市が経済・観光・文化などの分野における交流・協力をさらに深めることとした共同コミュニケに調印しました。

会議終了後にはナホトカ市役所を訪問して、ボリス・グラトキフ第一副市長と会談し、両市のつながりを今後も継続して維持・発展させていくことで合意しました。

また訪問の記念として、ナホトカ市から舞鶴市へ2つの煉瓦が寄贈され、赤れんが博物館において展示されました。

《参加者》

舞鶴市長

多々見良三

舞鶴市みなと振興・国際交流課長

新宮 敦雄

《日程》

8月23日(日) 舞鶴発、成田経由ウラジオストク着

8月24日(月) 第25回日ロ沿岸市長会議 会議1日目
(経済分野)

8月25日(火) 会議2日目(観光分野)、ナホトカへ移動

8月26日(水) ナホトカ市表敬訪問、ナホトカ市内視察

8月27日(木) ナホトカ発、ウラジオストク・成田経由舞鶴着



▲舞鶴市へ2つのれんがが寄贈された



▲ナホトカ市役所表敬訪問。前列左からボリス・グラトキフ第一副市長、多々見市長、セルゲイ・ストロエフ副市長

12月24日～27日

舞鶴市青少年レスリング訪問団をナホトカ市へ派遣

舞鶴市・ナホトカ市姉妹都市交流事業の一環として、「舞鶴ちびっ子レスリング教室」に通う児童ら9名を中心とした舞鶴市青少年レスリング訪問団（三村和人団長、コーチ1名、事務局3名）がナホトカ市を訪問しました。

訪問団一行は、ナホトカ市のスポーツスクール「プリモレーツ」への訪問やレスリングチームとの合同練習を通じて現地の市民と交流し、また、ナホトカ市主催「グレコローマンレスリング大会」に参加し、計3名が入賞、団体成績は11チーム中7位となりました。

《訪問団概要（計14名）》

舞鶴市レスリング協会理事長 三村 和人
（京都府立東舞鶴高等学校教諭）

舞鶴ちびっ子レスリング教室コーチ 松本 卓弥
（ミズノスポーツサービス株式会社）

舞鶴市教育委員会 スポーツ振興課 主査 村松 俊継
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長

舞鶴市みなと振興・国際交流課 主事 竹原 良治
東 康太

城南中学校 3年 新山 育実

城北中学校 2年 鈴木 翔己

城北中学校 2年 森脇 大雅

白糸中学校 1年 松居 拓実

城北中学校 1年 金子 蓮

中筋小学校 6年 新山 瑞歩

余内小学校 6年 鈴木 雄也

余内小学校 6年 中嶋 輝

福井小学校 6年 池田 拓人

《日 程》

12月24日(木) 舞鶴発、成田・ウラジオストク経由
ナホトカ着

12月25日(金) スポーツスクール見学、ナホトカ市表敬
訪問、ナホトカ市スポーツスクール
「ヴォドニク」のスクール生たちとの合
同練習

12月26日(土) ナホトカ市主催「グレコローマンレスリ
ング・オープン大会」に参加

12月27日(日) ナホトカ発、
ウラジオストク・成田経由舞鶴着



▲体格の大きな相手にも果敢に挑む！



▲舞鶴・ナホトカ友好の碑の前で記念撮影

友好都市・大連市との交流

1月28日～29日 大連市旅遊局代表団が来訪

大連市・舞鶴市間における観光分野の交流促進に向けた協議を行うため、大連の観光担当部局である旅遊局の代表団が来訪。一行は、京都舞鶴港や赤れんがパークなどを視察した後、クルーズ船や市民レベルの相互訪問を提案するとともに、5月に大連市で開催されるアカシア祭りへの参加を呼び掛けなど、観光分野での交流促進に向けた協議を行いました。

《代表団概要》(計3名)

大連市旅遊局 副局長	王 舒 岩
大連市旅遊局総合処 副処長	陳 俊 傑
大連市旅遊局市場推広処 副処長	蔡 梅 子

《日 程》

1月28日(水) 舞鶴着、歓迎夕食会
1月29日(木) 市長表敬訪問、市内視察



▲市長を表敬訪問する旅遊局代表団



▲京都舞鶴港を視察

3月31日 平成26年度舞鶴市国際交流員(CIR) 崔銘哲さんが離任

平成26年4月から、舞鶴市国際交流員として大連市との友好交流や京都舞鶴港振興事業、舞鶴市民との交流事業等を担当してきた崔銘哲(さい・めいてつ)国際交流員が、1年間の勤務を終え離任。3月31日、市役所において辞令交付および市長への離任挨拶を行いました。



▲市長から辞令交付を受ける崔銘哲さん

4月13日 平成27年度舞鶴市国際交流員(CIR) 鄒悦さんが着任

舞鶴市民に対する中国文化の理解の促進、友好都市・大連市との文化、経済交流などの橋渡し役として、中国・大連市から、11代目(10人目)の国際交流員となる鄒悦(すう・えつ)さんが着任。4月13日、市役所において、辞令交付および市長への着任挨拶を行いました。



▲市長へ着任挨拶する鄒悦さん

5月8～10日 第28回大連国際マラソン大会に舞鶴市選手を派遣

市民レベルでの文化・スポーツ交流の一環として、5月9日に大連市で開催された「第28回大連国際マラソン大会」に舞鶴市陸上競技協会の選手3名を派遣。女子フルマラソンに出場した天野美絵選手は2時間57分23秒という好記録で、6位に入賞しました。

《代表団概要》(計3名)

選手兼監督 北村 有史
選 手 天野 美絵
選 手 松本 臣一

《日 程》

5月8日(金) 舞鶴発、大連着、コース下見・練習
5月9日(土) マラソン大会参加
5月10日(日) 大連発、舞鶴着



▲大連マラソンスタート地点の様子



▲昨年度国際交流員の崔銘哲さん(左)が選手の応援にかけつけてくれました

5月13日 大連市政府代表団が来訪

肖盛峰・大連市長を団長とする大連市政府代表団一行が来訪。舞鶴市民病院及び舞鶴赤十字病院や京都舞鶴港を視察したほか、舞鶴市長と会談し、医療・福祉・港湾振興・観光等、今後の両市の友好都市交流の推進について協議を行いました。

《訪問団概要》(計10名)

大連人民政府市長	肖 盛 峰
大連市人民政府秘書長	駱 東 昇
大連市経済情報化委员会主任	張 乙 明
大連市外事弁公室主任	于 涛
大連市対外貿易経済合作局局長	王 麗 英
大連市人民政府弁公庁処長	陳 雲 貴
大連市対外貿易経済合作局連絡一处处長	呉 曉 峰
大連市対外貿易経済合作局外資管理处処長	劉 世 偉
大連市対外貿易経済合作局連絡一処副処長(通訳)	朱 利 利
大連市駐東京事務所所長	王 新

《日 程》

舞鶴市民病院及び舞鶴赤十字病院を視察
京都舞鶴港視察
舞鶴市長表敬訪問・歓迎夕食会



▲病院を視察する肖市長



▲市長表敬の際に、肖市長から螺鈿細工のプレートが贈られました

5月23日～26日 第26回大連アカシア祭りに参加

大連市長からの招待に応じ、堤副市長らが「第26回大連アカシア祭り」に参加。今後の友好都市交流の促進を図るため、両市の幹部による協議を行いました。併せて、大連の特性を活かした経済交流の活性化に向け、クルーズ客船の誘致や新たなビジネスマッチング等の情報収集のため、大連市政府機関や府内企業の大連事務所等を訪問しました。

《訪問先》

中国・大連市

《訪問者》

舞鶴市副市長 堤 茂
舞鶴市企業立地・雇用促進課企業誘致担当課長 小島 宏
舞鶴市国際交流員 鄒 悦

《日程》

- 5月23日(土) 舞鶴発、大連着
大連市大連市政府幹部との会見、大連市主催歓迎夕食会
- 5月24日(日) 大連保稅区視察、楊艶・初代CIRと面会、アカシア祭り開幕式、アカシア祭り歓迎レセプション
- 5月25日(月) クルーズ関連企業及び大連領事館訪問、大連市外事弁公室主催夕食会
- 5月26日(火) 大連発、舞鶴着



▲アカシア祭開幕式の様子

6月3日～4日 大連市物流協会視察団が来訪

趙立成大連市物流協会秘書長をはじめとする大連市物流協会の視察団が来訪。京都舞鶴港を視察したほか、府内物流関連企業を訪問し、意見交換等を行いました。

《来訪者》(計4名)

大連市物流協会 秘書長 趙 立 成
同 副秘書長 史 延 敏
ほか2名

《日程》

- 6月3日(水) 舞鶴着、歓迎夕食会
- 6月4日(木) 市内視察、京都へ移動

7月27日 大連培根私立学校視察団が来訪

大連市にある大連培根私立学校の視察団が来訪。明倫小学校において、舞鶴市における教育の現状を視察するとともに、教育方法などについて意見交換を行いました。

《視察団概要》(計22名)

校 長	狄 紅
教 頭	王 玉 梅
数学科主任	于 波
国語科主任	于 文 興
英語科主任	張 英 傑
生活科主任	韓 梅
道徳科主任	劉 彩 霞
総務科主任	王 欣 悦
指導科主任	趙 悦
教 師	矯 紅 萍
教 師	邵 麗 英
教 師	尹 明 賢
教 師	丁 慧
教 師	王 艷 秋
教 師	張 莉
教 師	王 月 前
教 師	趙 洪 波
教 師	曲 靚
教 師	姜 洪 林
教 師	楊 麗 紅
引 率	田 曉 偉
引率通訳	田 曉 豊

《日程》

学校紹介、施設見学、意見交換会



▲明倫小学校を視察



▲両校で記念撮影

8月5日～6日 大連市旅遊局代表団が来訪

李景平大連市旅遊局局長を団長とする大連市旅遊局代表団が来訪。大連市・舞鶴市間における観光・クルーズ分野での交流促進に向けて協議したほか、京都舞鶴港や赤れんがパークなどを視察しました。

《代表団概要》(計6名)

大連市旅遊局局長	李 景 平
大連市旅遊局副局長	王 舒 岩
大連市旅遊局旅遊促進・国際連絡処副処長	蔡 梅 子
大連市旅遊局旅遊促進・国際連絡処副処長	李 守 君
中国国旅(大連)国際旅行社有限公司社長	王 軍
大連海外旅遊有限公司 社長	魏 湧

《日 程》

8月5日(水) 舞鶴着、五老スカイタワー視察、
歓迎夕食会
8月6日(木) 舞鶴市表敬訪問、赤れんがパーク視察、
京都舞鶴港視察



▲舞鶴市を表敬訪問



▲京都舞鶴港に新設された旅客ターミナルを視察

9月24日～28日 2015 大連日本商品展覧会に出展

京都舞鶴港における中国定期航路の更なる活性化、京都舞鶴港の知名度アップ及び京都舞鶴港利用企業等の輸出拡大支援を図るため、2015 大連日本商品展覧会に参加し、来場者へ京都舞鶴港をPRするとともに、関係企業の輸出希望商品展示し現地のニーズ調査を行いました。

《展示会開催場所》

中国・大連市 世界博覧広場

《訪問者》

(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
(一社)京都舞鶴港振興会理事	小森 実
(一社)京都舞鶴港振興会主任	中山 隆司
舞鶴市国際交流員	鄒 悦

《日 程》

9月24日(木) 舞鶴発、大連着、会場設営
9月25日(金) 展示会出展
9月26日(土) 展示会出展
9月27日(日) 展示会出展、撤収
9月28日(月) 大連発、舞鶴着



▲京都舞鶴港と府内産品をPR

11月10日～11日

大連市外事弁公室代表団が来訪

徐龍良大連市外事弁公室副主任を団長とする大連市外事弁公室代表団が来訪。平成28年度の両市間の友好都市交流の促進に向けた意見交換を実施したほか、赤れんがパークなどを視察しました。

《代表団概要》(計3名)

大連市外事弁公室副主任	徐 龍 良
大連市外事弁公室アジア処処長	姜 春 梅
大連市外事弁公室アジア処職員	孫 立 娣

《日 程》

11月10日(水) 舞鶴着、歓迎夕食会

11月11日(木) 舞鶴市表敬訪問、市内視察



▲舞鶴市を表敬訪問



▲赤れんがパークを視察

姉妹都市・ポーツマス市との交流

3月21日～30日 平成26年度ポーツマス市訪問青少年 英語研修を実施

市内在住の中学生と高校生の11名が、姉妹都市である英国ポーツマス市で、ホームステイをしながら、語学学校に通い英語を学ぶ英語研修に参加。語学力とともに国際的な視野を養うことを目的とするこの研修で、参加者は本場の英語を学ぶとともに伝統的な英国文化を体験しました。

《参加者》

城南中学校2年	井上 颯太
城南中学校2年	松本 和海
城南中学校2年	松岡 鈴葉
城南中学校3年	高井 未来
共栄学園中学校2年	阪口 幹旺
舞鶴高専2年	藤井 希帆
東舞鶴高校1年	松岡 滯
西舞鶴高校1年	鍋師 海
西舞鶴高校1年	菊田 颯
西舞鶴高校1年	植田 智貴
西舞鶴高校1年	小村谷歩実

《研修日程》

- 3月21日(土) 舞鶴発、ロンドン～ポーツマス着
- 3月22日(日) 午前：ホストファミリーとの対面、ホームステイ
- 3月23日(月)～27日(金) PLC（語学学校）での英語研修、ホームステイ
- 3月24日(火) 午後：ポーツマス市名誉市長への表敬訪問
- 3月28日(土) ポーツマス～ロンドンへ、市内視察
- 3月29日(日) ロンドン市内視察、ロンドン発
- 3月30日(月) 舞鶴着

6月3日 ポーツマス市名誉市長に フランク・ジョナス氏が就任

6月3日、名誉市長選出式典が開催され、新名誉市長に保守党のフランク・ジョナス議員が、また、新副市長にデイビッド・フラーク議員が選出されました。

ポーツマス市名誉市長は、1年の任期で市議会議員から互選で選出されます。



▲語学学校の修了証書を授与される参加者



▲名誉市長を表敬訪問する参加者たち

韓国・浦項市等との交流

1月23日～24日

韓国・浦項市青少年交流訪問団が来訪

京都舞鶴港と韓国・浦項迎日(ヨンイル)湾港との間における国際フェリー航路開設を目指した人的交流の一環として、浦項市青少年交流訪問団26名が来訪。城北中学校を訪問し、華道や書道などの日本文化を通じた学校交流を行った後、舞鶴の特産品であるかまぼこ作りを体験したほか、ホームステイを行うなど、市民との交流を深めました。

《訪問団概要》

大東中学校2年
梨洞中学校2年
圃隱中学校2年
迎日中学校2年
港道中学校2年
大島中学校1年
大島中学校1年
東海中学校1年
同志中学校1年
同志中学校1年
環湖中学校3年
新興中学校3年
浦項中学校3年
圃隱中学校3年
長機中学校3年
迎日中学校2年
港道中学校2年
浦項製鉄中学校2年
昌浦中学校2年
興海中学校1年
梨洞中学校1年
柳江中学校1年
清河中学校1年
東海中学校1年
浦項市国際協力課職員
浦項市国際協力課職員

ジョン・ヒョンギョ
キム・ジュンヒョン
チェ・ホジン
キム・ヒョンジュン
キム・ガンヒョン
ソン・ドンオン
キム・ピルジェ
イ・ジョンファン
キム・イギ
ド・ギュヨブ
バク・ヨンウン
オ・ギョンジン
ゴン・ダヨン
チェ・ガウン
キム・ジユン
イ・ユリ
キム・ジヒョン
バク・ジソン
チェ・ウンソ
ベ・ソユン
イ・スジ
ソン・ジウ
バク・ギョンウン
ジャン・ムンギョン
パク・ユズン
パク・ソンヒ

《日 程》

1月23日(金) 午前 来日、舞鶴着
午後 城北中学校との学校交流、かまぼこ作り体験、ホームステイ
1月24日(土) 午前 ホームステイ
午後 京丹後市へ移動、見学、京丹後市泊
1月25日(日) 午前 京都市へ移動・見学、
夕方 大阪へ移動、大阪泊
1月26日(月) 午前 帰国



▲学校交流では書道を通じて学生同士が交流を深めました



▲訪問団一行とホストファミリー。舞鶴を離れる前に記念撮影

7月30日～8月2日

京都舞鶴港関係者が韓国を訪問

京都舞鶴港と韓国との国際フェリー航路開設や国際コンテナ航路の活性化を図るため、京都舞鶴港関係者が韓国を訪問。浦項市表敬訪問をはじめ浦項市主催で開催された物流フォーラムに参加するとともに、ソウルにおいても貿易関係企業等を訪問し、観光PRやコンテナ貨物増加に向けた意見交換を行いました。

《訪問先》

韓国・ソウル特別市、浦項市

《訪問者》

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市産業振興部観光まちづくり室長	三浦 裕明
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	新宮 敦雄
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
(一社)京都舞鶴港振興会主任	相分 駿 他

《日 程》

- 7月30日(木) 舞鶴発、ソウル着、貿易関係企業訪問
- 7月31日(金) 浦項へ移動、浦項市表敬訪問
- 8月1日(土) 物流フォーラムに参加
- 8月2日(日) ソウル発、舞鶴着

12月18日～21日

「舞鶴市青少年交流訪問団」を浦項市に派遣

平成24年8月に、京都府北部5市2町と浦項市が発表した「日韓地域間交流推進のための宣言」における人的交流の取り組みの一環として、舞鶴市中学生14名及び教員等からなる舞鶴市青少年交流訪問団を韓国・浦項市に派遣。両市市民の交流を促進し、互いの理解と友情が深められるよう、九龍浦(クーリョンポ)中学校での学校交流をはじめ、浦項市民宅でのホームステイ、さらには、浦項伝統文化体験館において、キムチ作りや韓紙作りを体験し、韓国文化を学んだほか、市内視察を行うなど交流を深めました。

《訪問先》

韓国・浦項市、釜山広域市

《訪問団概要》(計19名)

若浦中学校校長	龜井 雅之
城南中学校生徒指導主任	衣川 昌宏
若浦中学校養護教諭	川田 美佳
舞鶴市教育委員会学校教育課指導主事	木下 浩子
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	竹原 良治
青葉中学校3年	羽賀田将貴
青葉中学校3年	岩見 望永
白糸中学校3年	森田 開一
白糸中学校3年	佐藤 めい
和田中学校3年	西田 聖哉
和田中学校3年	古賀みずほ
城南中学校3年	千葉 晃弘
城南中学校3年	大槻 彩香
城北中学校3年	村上 颯汰
城北中学校3年	井上 忍
若浦中学校3年	畑山 純慶
若浦中学校3年	井上 若奈
加佐中学校3年	佐藤 竜樹
加佐中学校2年	桑垣 里奈

《日 程》

- 12月18日(金) 舞鶴発、釜山経由浦項着、九龍浦中学校において学校交流、ホームステイ
- 12月19日(土) ホームステイ、韓国文化体験、浦項伝統文化体験館泊
- 12月20日(日) 浦項市内視察(浦項運河クルーズ、ジユッド市場見学)、世界遺産「仏国寺」見学
- 12月21日(月) 釜山市役所訪問、釜山市内視察(釜山タワー、国際市場見学)
釜山発、舞鶴着



▲九龍浦中学校の生徒と交流を深めました



▲伝統芸能のブムルを通じて交流

みなとを活かした交流 ～物流編～

3月18日～20日

中国華東地域訪問事業を実施

中国・華東地域との経済交流の拡大に向け、京都舞鶴港関係者が上海市等を訪問。一行は、新日本海フェリー(株)グループの中国現地法人の開業記念式典に出席するとともに、現地物流に関連する参加者との関係構築及び日中間貿易の情報収集を行いました。さらに、太倉港管理委員会や上海市内の船社等を訪問し、京都舞鶴港のPRや中国航路活性化に向け関係者と協議を行いました。

《訪問先》

中国・上海市、太倉市、南通市

《訪問者》

京都府京都舞鶴港振興監	福西 謙
京都府商工労働観光部海外経済課副主査	山本 隆裕
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
(一社)京都舞鶴港振興会主任	中山 隆司

《日程》

3月18日(水) 舞鶴発、上海着、クルーズ船社等訪問
 3月19日(木) 南通へ移動、「万利寧(南通)国際物流有限公司」開業式典等参加
 太倉へ移動、太倉港口管理委員会訪問
 3月20日(金) 上海発、舞鶴着

8月30日～9月2日

中国東北地方訪問事業を実施

中国東北地方との関係強化及び貨物開拓、航路開拓に向けた調査を行うため、京都舞鶴港関係者が中国吉林省を訪問。吉林省人民政府と中日韓三国協力事務局が主催する「第1回中日韓地方政府協力会議」及び「第10回中国—北東アジア博覧会」に参加し、関係強化を図りました。

《訪問者》

(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
法円坂法律事務所大連代表処代表	稲田健太郎
京都精管(株)代表取締役社長	柴崎 勇
日本国際貿易促進協会京都総局専務理事	中重 節子
京都九輝投资管理有限公司纏裁	喬 文暉

《日程》

8月30日(日) 舞鶴発、北京経由長春着
 8月31日(月) 日中韓地方政府協力会議
 9月1日(火) 北東アジア博覧会視察、企業視察
 9月2日(水) 長春発、北京経由舞鶴着

7月4日

日韓露国際フェリー航路開設に向けた準備運航第一船が入港

京都舞鶴港と韓国を結ぶ国際フェリーの早期開設を目指す中、本航路開設に向けたPRを目的として、境港～東海(韓国)～ウラジオストク(ロシア)との間に就航しているフェリーが舞鶴港まで延伸運航されることとなり、その第一船が入港しました。



▲入港歓迎式典

9月6日～10日

ウラジオストクにおける食料品展示会に出展

極東ロシアでの日本製品の安定した販路を確保するため、沿海州最大規模の「沿海州食品展示会(於:ウラジオストク市)」に出展するとともに「現地バイヤーとの商談会」を実施。京都産品の継続的なPRや日本企業とロシア側バイヤーの交流を図り、商談への足がかりとするとともに、北海道と連携しPR効果を高め、日本商品の販路開拓に努めました。



▲展示会の様子

《訪問先》

ロシア連邦ウラジオストク市

《訪問者》

京都府商工労働観光部海外経済課総括担当課長 中田 昭博
 京都府商工労働観光部海外経済課主査 飛田みどり
 (一社)京都舞鶴港振興会理事 小森 実
 (一社)京都舞鶴港振興会主任 久保 将太
 他

《日 程》

9月6日(日) 舞鶴発、成田経由ウラジオストク着
 9月7日(月) 会場確認、領事館訪問
 9月8日(火) 「沿海州食品展示会」出展
 9月9日(水) 「沿海州食品展示会」出展、商談会開催
 9月10日(木) 市内視察、ウラジオストク発、
 成田経由舞鶴着

9月17日

米国・アラスカ州天然ガス関係者が京都舞鶴港を視察

京都府と米国・アラスカ州との間で調印した「京都府・アラスカ州間のエネルギー資源に関する協力の覚書」に基づき、同州の自治体関係者をはじめとするアラスカ州天然ガス関係者一行が来訪。舞鶴市表敬訪問のほか、京都舞鶴港をはじめとする、市内各地の視察を行いました。

《訪問団概要》

バルディーズ市長 ラリー・ウェーバー
 マタヌスカ・スシトナ郡議員 ロン・アービン
 同 議員 スティープ・コリガン
 同 議員 マルク・ファン・ドンガン



▲京都舞鶴港を視察

10月29日

駐大阪・神戸米国総領事が来訪

アレン・グリーンバーグ駐大阪・神戸米国総領事が来訪。米国・アラスカ州との間で調印したLNG受入計画の視察及びユネスコ世界記憶遺産登録に合わせて舞鶴引揚記念館などを視察しました。

12月3日～7日

日韓国際フェリー旅客輸送トライアルを実施

7月から貨物輸送が開始された韓国・ロシアとの国際フェリー航路を運航するDBSクルーズフェリー社が、直行航路の開設に向けた旅客輸送トライアルを実施しました。また、この旅客トライアルにあわせて、東海市代表団が来訪するとともに、韓国内での集荷や集客を図るため代表団を派遣しました。

○東海市代表団来訪

《訪問団概要》

東海市副市長	ホン・ジョンヨル
東海市議会 副議長	キム・ギハ
東海市安全都市局長	チェ・ヒョンギ
東海市経済課交流協力係長	チャン・ジョンタク
東海市企業支援課企業支援係長	チョ・ヨンジャ
東海市海洋水産課港湾係長	パク・ジェホ
海洋水産課職員	キム・ドンユン
東海市観光課職員	キム・ミル
江原道海洋港湾課職員	チェ・チャンム
江原道海洋港湾課職員	チョン・ミョンチョル
DBS代表取締役副社長	ユン・ギュハン
DBS日本支社長	イ・ジュンマン

《日 程》

12月3日(木) 京都舞鶴港着、入港歓迎式典、舞鶴市内視察
 12月4日(金) 京都市内視察
 12月5日(土) 天橋立観光、出港セレモニー、京都舞鶴港出港

○舞鶴市代表団派遣

《訪問先》

韓国・ソウル特別市、東海市

《訪問者》

京都府中丹広域振興局局長	中村 敬二
京都府京都舞鶴港振興監	福西 謙
京都府商工労働観光部海外経済課主任	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
(一社)京都舞鶴港振興会主任	栢分 駿

《日 程》

12月5日(土) 京都舞鶴港発、実務協議
 12月6日(日) 東海港着、東海港東海市内視察、ソウルへ移動
 12月7日(月) 企業訪問、ソウル発、舞鶴着



▲フェリーで来訪した韓国人観光客

みなとを活かした交流 ～観光編～

3月15日～21日

クルーズ・ SHIPPING・マイアミ 2015 に参加

京都舞鶴港へのクルーズ客船のさらなる誘致を図るため、世界のクルーズ業界関係者が一堂に会する「クルーズ・SHIPPING・マイアミ 2015」に参加。京都舞鶴港を広くPRするとともに積極的な誘致活動を展開しました。

《訪問先》

米国・マイアミ

《訪問者》

舞鶴市みなと振興・国際交流課主幹 中井 哲也
 (一社)京都舞鶴港振興会主任 久保 将太

《日程》

3月15日(日) 舞鶴発、マイアミ着
 3月16日(月) 出展準備、エバーグレース港視察
 3月17日(火) 「クルーズ・SHIPPING・マイアミ 2015」
 ビジネスデイ&カンファレンス
 3月18日(水) 「クルーズ・SHIPPING・マイアミ 2015」
 ビジネスデイ&カンファレンス
 3月19日(木) 「クルーズ・SHIPPING・マイアミ 2015」
 ビジネスデイ&カンファレンス
 3月20日(金) マイアミ発
 3月21日(土) 舞鶴着



▲京都舞鶴港をPR

3月16日～20日

舞鶴市観光関係者が韓国インバウンド事業を実施

舞鶴市観光関係者が韓国・ソウル市を訪問し、日韓フェリー航路のPRや、大手旅行会社等の担当者へ舞鶴市の観光PRを実施するとともに、観光周遊のモデルコースの提示を行いました。

《訪問先》

韓国・ソウル市

《訪問者》

合同会社まいづる広域観光公社 劔菱 英明
 舞鶴市観光商業課主査 渋沢 元気
 舞鶴市観光商業課主事 大西 宏明
 舞鶴市みなと振興・国際交流課嘱託職員 高橋 美花

《日程》

3月16日(月) 舞鶴発、ソウル着、旅行会社と面談
 3月17日(火) 旅行会社と面談
 3月18日(水) 旅行会社と面談、束草港を視察
 3月19日(木) 旅行会社と面談
 3月20日(金) ソウル発、舞鶴着



▲旅行会社担当者へ舞鶴市をPR

6月10日～15日

ソウル市KOTFA韓国国際観光展に出展

舞鶴市観光関係者が韓国最大の旅行イベントKOTFA 2015 にブース出展。一般市民や業界関係者へ舞鶴市の観光PRを行いました。また、韓国市場商談会に参加し、韓国観光業界関係者等に向けて情報提供を行いました。

《訪問先》

韓国・ソウル特別市

《訪問者》

合同会社まいづる広域観光公社 釧菱 英明
舞鶴市観光商業課主事 大西 宏明
舞鶴市みなと振興・国際交流課嘱託職員 高橋 美花

《日程》

6月10日(水) 舞鶴発、ソウル着、2015 VISIT JAPAN
韓国市場商談会
6月11日(木) 第30回韓国国際観光展KOTFA2015参加
6月12日(金) 第30回韓国国際観光展KOTFA2015参加
6月13日(土) 第30回韓国国際観光展KOTFA2015参加
6月14日(日) 第30回韓国国際観光展KOTFA2015参加
6月15日(月) ソウル発、舞鶴着



▲舞鶴市をPR

6月24日～29日

舞鶴市観光関係者が「日本の観光・物産博 2015」に参加

台湾で開催された「日本の観光・物産博 2015」に舞鶴市観光関係者が参加。台湾の旅行社約15社や展示ブース来場者へ舞鶴市を含む海の京都エリアの観光スポットの紹介やPRを行いました。

《訪問先》

台湾・台北市

《訪問者》

合同会社まいづる広域観光公社 釧菱 英明
舞鶴市観光商業課課長 櫻井 晃人
舞鶴市観光商業課主査 渋沢 元気

《日程》

6月24日(水) 舞鶴発、台北着
6月25日(木) 市内旅行会社訪問、出展準備
6月26日(金) 日本観光物産博に出展、観光商談会
6月27日(土) 日本観光物産博に出展
6月28日(日) 日本観光物産博に出展
6月29日(月) 台北発、舞鶴着

9月1日～5日

舞鶴市観光関係者が台湾大商談会に参加

関西振興財団主催による台湾大商談会に舞鶴市観光関係者が参加。高雄6社、台湾10社、台北15社の計31社に対し、舞鶴市を含む海の京都エリアの観光スポットの紹介やPRを行いました。

《訪問先》

台湾・高雄市、台中市、台北市

《訪問者》

合同会社まいづる広域観光公社 釧菱 英明
舞鶴市観光商業課主査 渋沢 元気

《日程》

9月1日(火) 舞鶴発、高雄着
9月2日(水) 高雄にて商談会、台中へ移動
9月3日(木) 台中にて商談会、台北へ移動
9月4日(金) 台北にて商談会
9月5日(土) 台北発、舞鶴着



▲舞鶴特産のかにをイメージした姿で舞鶴市をPR

10月12日～16日

日中韓3か国地方政府交流会議に参加

中国人民対外友好協会の主催で、中国・義烏市において開催された「第17回日中韓3か国地方政府交流会議」に舞鶴市長がパネラーとして出席。「人的往来拡大による日中韓観光と文化交流の促進」について事例発表し、日中韓の自治体や国際交流機関との交流の促進に向け、舞鶴市及び海の京都のPRを行いました。会議終了後上海へ移動し、クルーズ船社の上海事務所や府内企業の上海事務所等を訪問。中国からのクルーズ客船の誘致や地元企業の新たな販路開拓に関する情報収集を行いました。

《訪問先》

中国・義烏市、上海市

《訪問者》

舞鶴市長 多々見良三
舞鶴市企業立地・雇用促進課企業誘致担当課長 小島 宏

《日 程》

10月12日(月) 舞鶴発、杭州着、歓迎夕食会
10月13日(火) 開幕式、舞鶴市発表パネルディスカッション、大連市代表者との会談
10月14日(水) 義烏市視察、在上海日本国総領事館、京都府上海ビジネスサポートセンター訪問
10月15日(木) 府内企業上海事務所、クルーズ関連企業等訪問
10月16日(金) 上海発、舞鶴着



▲「人的往来拡大による日中友好観光と文化交流の促進」について舞鶴市長が事例発表

市民主体の国際交流

1月30日～2月9日 日星高校でカナダの高校生が短期留学

私立日星高校にカナダ・バンクーバー市の姉妹校セントパトリック校の高校生11名が短期留学しました。留学生は滞在中、書道やそば打ちなどの日本文化を体験した他、生徒宅でホームステイをするなど、交流を深めました。

2月25日～26日 東舞鶴高校が異文化理解・外国語講座を開催

京都府立東舞鶴高校において、崔銘哲・舞鶴市国際交流員を講師として「異文化理解・外国語講座」が開催されました。国際文化コース2年の26名が参加し、中国・大連市の紹介や簡単な中国語を学んだ他、2日目は中国・東北風の「酸菜水餃子」を作る調理実習を通じて中国の食文化に触れました。



▲中国語や中国文化を紹介



▲本場中国の「水餃子」作りにチャレンジ!

5月30日 「地球のステージ5」が開催

舞鶴市民会館で、宮城県名取市の精神科医・桑山紀彦さんのライブ「地球のステージ」が開催されました。約30年間にわたって世界各地で医療救援活動を行っている桑山さんは、平和の尊さを伝えるため、パレスチナ・ガザ地区で空爆を受けながらも力強く生きる子どもたちを、歌と映像で紹介しました。第二部では、東日本大震災で被災した子どもたちが主演する映画「ふしぎな石」が上映されました。



▲開催を手伝った学生たちと出演者の桑山さん

6月6日・7日 第1回「体験型留学生ツアー」で 京都産業大学留学生が来訪

NPO法人・北近畿みらいの主催で、香港や中国、ドイツなど6カ国21名の京都産業大学の留学生や、李敏・京都府名誉親善友好大使が舞鶴市を訪問しました。かまぼこ作り体験を行ったほか、漁港のある野原地区の民宿に宿泊し、魚の干物作りや、新鮮な魚介類のバーベキューなどを行い、地元の味を楽しみ、地域住民との交流を深めました。



▲魚の干物作りに挑戦する留学生たち

6月7日

平成27年度インターナショナル与保呂フェスティバルを開催

与保呂小学校では、外国人講師との触れ合いを通して言語や文化について理解を深め、世界に目を向けたくましく生きる児童の育成を目指し、毎年、「インターナショナル与保呂フェスティバル」を開催しています。本年は、鄒悦・舞鶴市国際交流員をはじめ、京都産業大学の留学生21名や市内在住の外国人講師など26名の参加を得て開催され、全校児童155名と交流を行いました。また、当日は学校公開日とし、保護者や地域住民約100名の参加がありました。出身国の紹介や外国語を使ったゲームを通じて交流と相互理解を深めました。



▲留学生や市内在住の外国人講師と交流し、外国の文化に触れました。

6月13日

在日外国人の介護資格取得に向けた「グローバル介護員初任者研修講座」を開催

介護老人福祉施設「ライフ・ステージ舞夢」が市内在住の外国人を対象として介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）取得に向けた「グローバル介護員初任者研修講座」を開催し、11名が参加しました。講座終了後には、参加者全員がホームヘルパー2級を取得し、現在は介護施設で就労している方もいます。また、同施設は在日外国人を対象として日本語や日本の文化を学べる日本語教室や介護資格取得のための日本語教室を実施するなど、外国人が安心して暮らせるための取り組みを実施しています。

6月13日

東舞鶴高校が「英語集中キャンプ」を実施

京都府立東舞鶴高校で、1日間英語だけで生活する体験学習が実施され、1～3年生の29名が参加しました。これは、グローバルな分野で活動することができるようコミュニケーション能力を高めるために実施されたものであり、参加者は校内外の外国人AET（英語指導助手）5名らと米国の家庭料理づくりや、ワークショップ、校内通貨「東校ドル」を使った買い物のシミュレーションなど、英語を使った生活を疑似体験しました。

7月6日

「難民を助ける会」現地活動員が日星高校で講演

シリアで難民支援活動に取り組んでいる国際団体「難民を助ける会」の景平義文さんが私立日星高校の看護科4年の生徒42名に向けて講演を行いました。景平さんはシリアにおける国際社会からの支援が不足している現状について報告し、難民受け入れがまだ進んでいない日本からの支援の必要性を訴えました。

7月16日～31日

ポーランド日本語学校の生徒が来訪

ポーランド中部・ウッチ市の私立外国語学校に通う14～37歳の高校生や社会人ら11名が、同校で日本語の講師を務める舞鶴市出身の水谷江里さんの引率で、日本語を学習しながら日本人・文化に直接触れることを目的に、舞鶴市を研修旅行で訪問しました。舞鶴市滞在中、生徒らは座禅を体験したほか、舞鶴国際交流協会英会話受講者のガイドによる市内散策や鎧兜の試着、折り紙を体験し、水谷さんの母校である府立西舞鶴高校で高校生から書道や茶道を学んだり、明倫小学校放課後児童クラブで切り絵を教えるなど、日本の文化に直接触れ、地域住民と相互理解と交流を深めました。



▲明倫小児童クラブで児童に切り絵を教える様子

7月17日

舞鶴市女性の会が国際交流料理教室を開催

舞鶴市女性の会が食文化交流を通じて国際理解を深めるために、国際交流料理教室を開催しました。同会の会員25名、鄒悦・舞鶴市国際交流員、ポーランド日本語学校生ら12名が参加し、日本・中国・ポーランドの3か国の料理をお互いに教え合いながら交流し、「食」を通じて異文化への理解を深めました。



▲それぞれの国の料理を教え合う参加者たち

7月25日～31日

韓国・パイントゥリーホーム院生が舞鶴学園を訪問

児童養護施設「舞鶴学園」では、日韓両国の児童養護施設で生活している子どもたちが交流をすることによって相互理解や国際的な視野、豊かな心を育むため、韓国・仁川市の児童養護施設「パイントゥリーホーム」と、毎年夏と冬にお互いの国を訪問する日韓交流事業を行っています。本年は同ホームから4名（院生3名、職員1名）が来訪。一行は滞在中、舞鶴市表敬訪問を始め、浮島丸殉難の碑に献花を行ったほか、茶道体験やお互いの国の料理を作るなど、交流を深めました。



▲堤副市長と懇談するパイントゥリーホーム院生

8月6日・7日

第3回「体験型留学生ツアー」で龍谷大留学生が来訪

NPO法人・北近畿みらいの主催で、第3回「体験型留学生ツアー」が実施され、中国、オーストラリア、ドイツなど5カ国12名の龍谷大学の留学生や、京都府名誉親善友好大使が舞鶴市を訪問しました。一行は舞鶴市滞在中、かまぼこ作り体験を行ったほか、野原地区の民宿に宿泊し、魚の干物作りや、新鮮な魚介類のバーベキュー、魚釣り体験や定置網見学を行い、地元の味を楽しむとともに、地域住民との交流を深めました。



▲バーベキューで新鮮な魚介を体験する留学生

9月30日、12月3日

文庫山学園で鄒悦・国際交流員が講演

老人福祉センター文庫山学園で開催された「まちづくり出前講座」において、鄒悦・舞鶴市国際交流員が講師として講演。中国・大連市の習慣や中国の文化、健康法などを紹介し、和気あいあいとした雰囲気のもと、参加者との交流と異文化への理解を深めました。



▲まちづくり出前講座

10月3日

舞鶴国際交流協会が外国料理教室を開催

NPO法人・舞鶴国際交流協会では、異文化理解を深めるため、毎年外国料理教室を開催しています。本年は同協会が実施する韓国語教室で講師を担当している河本秀英（スヨン）さんを招いて、韓国料理教室を開催し、タッカルビや海鮮チヂミを作りました。

10月20日

余内小学校が国際理解教室を開催

余内小学校では、児童が世界の国々に対する理解を深め、友好的で平和な国際社会の一員として生きる力の基礎を育むため、「国際理解教室」を実施しており、本年度で3度目の開催となります。児童たちは講師の鄒悦・舞鶴市国際交流員から、友好都市・大連市の概要や、中国語の簡単なあいさつ、中国の遊び、文化や習慣などを学び、異文化に対する理解を深めました。



▲国際理解教室を開催

10月30日

倉梯小学校が「ワールド教室」を開催

倉梯小学校では、外国人講師を招へいし、一緒に学習することで、異文化理解を図り、自国の文化を尊重する姿勢を育成することを目的として「ワールド教室」を毎年開催しています。今年度は、鄒悦・舞鶴市国際交流員をはじめ、龍谷大学・京都産業大学の留学生30名や市内在住の外国人ALT（英語指導助手）など31名が講師として参加し、クイズやゲームをしながら出身国の文化・習慣を紹介しました。



▲外国人講師にソーラン節を披露する児童たち

11月6日～8日

舞鶴ユネスコ協会が「世界児童絵画展」を開催

ショッピングセンター「らぼーる」において、舞鶴ユネスコ協会による「世界児童絵画展」が開催されました。市内の幼稚園、小中学校の子どもたちの作品のほか、姉妹都市ロシア・ナホトカ市及び友好都市中国・大連市から送られてきた51点の絵画、大連市の書道作品20点が展示されました。3日間で3,057人の来場者がありました。



▲各国の子ども絵画が展示され、買い物客らが足をとめました

11月8日

「まいてフェスタで「韓国屋台へようこそ！」を出店

NPO法人・舞鶴国際交流協会が、中総合会館で開催された「まいてフェスタ」に韓国料理をふるまう屋台を出店しました。ふるまわれた4種類の韓国料理は好評で、市民のみなさんに韓国の味に触れ、親しんでもらうことができました。

11月9日～10日

東舞鶴高校で「異文化理解・外国語講座」を実施

京都府立東舞鶴高校が、12月に実施する台湾での研修旅行の事前学習として「異文化理解・外国語講座」を実施しました。国際文化コース2年の40名を対象として、鄒悦・舞鶴市国際交流員が講師となり、簡単な中国語の学習や中国語での歌の練習を行いました。



▲中国文化を学んだり中国語で歌の練習を行いました

11月23日

「第1回多文化共生サポーター養成講座」を開催

舞鶴市で暮らす外国人と日本人が言葉や文化、習慣の違いを互いに理解し、支えあえる多文化共生社会の実現のために、「多文化共生サポーター養成講座」を開催しました。第1回目は京丹後市国際交流協会事務局長の麻田友子氏を講師に招き、多文化共生の基礎知識や、京丹後市における多文化共生社会に向けた取り組み例について学んだ後、意見交換を行いました。日本人と外国人の計35名が参加し、互いの文化を知り、共に暮らしていくことへの理解を深めました。



日本人と外国人市民が参加し、多文化共生について学びながら交流を深めました

12月1日～5日

東舞鶴高校国際文化コースが台湾研修旅行に参加

京都府立東舞鶴高校の国際文化コース2年の39名が、台湾・台北市を4泊5日の研修旅行で訪問し、市内観光や現地の高校・大学を訪問して交流を行いました。生徒達は現地の同世代の生徒と外国語で交流することを通じて、コミュニケーション能力の育成を図るとともに自国の文化を再認識する機会となりました。

12月21日

青葉中学校で舞鶴市出身国連職員が講演

舞鶴市出身で、飢餓や貧困の根絶を目指す国連の世界食糧計画タイ事務所で働いている大室直子さんが、母校の青葉中学校で講演を行いました。同校は4月のネパール大地震被災地の復興支援などに取り組んでおり、世界で活躍する人の話を聞くことで、生徒たちが視野を広げ、将来について考えるきっかけとするため講演を企画しました。大室さんは自身の夢や国連機関の仕事のやりがいについて話し、生徒たちと交流を深めました。

12月28日

「舞鶴学園」日韓交流事業が高円宮賞を受賞

児童養護施設「舞鶴学園」で毎年実施されている日韓交流事業が、日韓青少年の草の根交流へ貢献している団体等を顕彰する「高円宮賞」を受賞し、市長に受賞を報告しました。



▲市長に受賞を報告

※本項はみなと振興・国際交流課において把握している情報をもとに記載したものです。



海外からのクルーズ客船が寄港



2015年は、京都舞鶴港にクルーズ客船が計8回寄港しました。うち5回は海外からの寄港で、京都舞鶴港を訪れた海外からのお客様に、市が一丸となっておもてなしを行いました。

4月14日・4月30日・5月13日 L' AUSTRAL



- ・船名：ロストラル
- ・運航会社：ポナン（仏）
- ・総トン数：10,944トン
- ・全長：142m
- ・全幅：18m
- ・乗客定員：264人
- ・船籍：フランス



フランスならではの優雅な内装と美食が特徴の客船です。



出港時には日星高校吹奏楽部の演奏でお見送りをしました。



歓迎式典では乗船スタッフに地元舞鶴の味、イワガキを振舞いました。

7月30日 DIAMOND PRINCESS



- ・船名：ダイヤモンド・プリンセス
- ・運行会社：プリンセス・クルーズ（本社：米国）
- ・総トン数：115,875トン
- ・乗客定員：2,670人
- ・全長：290m
- （2名1室時）
- ・全幅：37.5m
- ・船籍：英国



この寄港から旅客ターミナルがオープン。観光案内や地元グルメの販売ブースなどを設置し、多くのクルーズ船客でにぎわいました。



東舞鶴高校生が外国人クルーズ船客と英会話にトライ！



市内各所で市民クルーズサポーターが舞鶴市を観光案内。あたたかいおもてなしをしました。

9月10日 MARINER OF THE SEAS



- ・船名：マリナー・オブ・ザ・シーズ
- ・運行会社：ロイヤル・カリビアン・インターナショナル（本社：米国）
- ・総トン数：138,279トン
- ・乗客定員：3,114人
- ・全長：311m
- （2名1室時）
- ・全幅：48m
- ・船籍：パハマ



中国天津からアジア最大級のクルーズ客船が初入港。中国人をはじめとする3,000人近くのクルーズ船客が舞鶴市を訪問しました。



西市民プラザでは、浴衣の着付けや琴の演奏など、日本文化を体験できるイベントでにぎわいました。



地元高校生のジャズバンドの歓迎演奏に拍手を送りました。また、出港時には船が見えなくなるまで手を振り続けて見送りました。



舞鶴市国際交流員としての私

2014年度 舞鶴市国際交流員 崔 銘 哲

舞鶴市と大連市は1982年5月に、舞鶴において友好都市提携を実現しました。「経済、貿易、科学技術、文化、体育などの分野の交流を通じて、両市市民の理解と友情を深め、両市間の友好協力関係を強め、並びに両国国民の世代代にわたる友好関係を促進するために貢献することを約束する」ことが「議定書」に記され、32年間にわたり、幅広い分野で交流活動が行われてきました。2004年からは、総務省等が実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業」（JETプログラム）を利用して、毎年、大連市から国際交流員を招くという形が定着しました。平成26年度舞鶴市国際交流員の私は10代目（9人目）となります。

大連で4年間の大学生活を送り、日本に2年間大学院生として留学し、更に大連に戻って就職した私にとって、「国際交流」がいったいどんな仕事なのか、「大連市の友好都市である」ということしか知らない舞鶴はどんなまちなのか、いろいろな不安を感じながら、1年間の舞鶴の旅に出ました。

1. 国際交流員としての「発信」業務

国際交流員の仕事の中で大きなものとして、「中国語講座」があります。中国語及び中国文化に関することを舞鶴の皆さんに知っていただき、好きになってもらうのが、その目的です。しかし、最初の授業では頭が真っ白になってしまって、何をどうやって紹介すればいいか分からなくなってしまいました。話し慣れているはずの母国語を、私にとっての外国語である日本語で説明するのはなんて難しいのだろう…。しかし、それだけでは終わりませんでした。その後も、私があまり詳しくない中国の伝統文化について講座の依頼が立て続き、自ら発信できる知識が足りないことにショックを受けました。このことをバネにして、必死で自国の文化を勉強し直しながら講座を続けていくうちに、一年間の「発信」業務をやり遂げることができました。日本に来て日本文化を理解するのはもちろんですが、自分自身にとっても母国の文化をあらためて見直す大変良い経験となりました。

(1) NPO法人舞鶴国際交流協会が主催する中国語講座の講師

期間：平成26年5月～平成27年3月末

回数：週1回（火曜日18：30～20：00）、年間計50回

概要：舞鶴市民を対象に「話したくなる中国語」をテーマとする初級中国語講座を実施。ピンイン（中国語独自の発音記号）から文法までを一つ一つ理解を深めながら、中国の年中行事やニュースなどの中国事情も話題に盛り込み、言葉の勉強と文化の紹介を平行して行うなどの工夫をしました。生徒は次第に理解を示してくれて、やがては先生も生徒も関係なく熱心に「中国」を語り合う場になってきたことが、一番嬉しかったです。ささやかながら、舞鶴に中国語・大連ファンを増やすことができたかなと思っています。

(2) 京都府教育委員会認定フリースクール「聖母の小さな学校」の中国語講師

期間：平成26年5月～平成27年3月末

回数：月2回（火曜日10：00～11：30）、年間計20回

概要：不登校生徒の通うフリースクールに派遣され、異文化理解を通じて他者と向き合う関心や活力を育てる事業として、中国語・中国文化講座を実施しました。不登校生徒とはこれまで全くお付き合いしたことがありませんでしたが、授業を通じて少しずつ心が通い始めるにつれ、本当に素晴らしい生徒たちだと思うようになりました。心が敏感なのは感性が繊細であることの裏返しで、絵や陶芸などに秀でた感性を持っていると思います。私は単に語学の知識を教えるより、前向きに世の中のことに向き合えるような講座となるよう、工夫したり悩んだりしてきました。これからの全てが無事に進むことをお祈りします。



▲「聖母の小さな学校」で中国語を教える

(3) 学校訪問交流

学校訪問は「発信」業務としてとても重要です。子どもたちが中国語や中国文化とのふれあいを通じて、国際的視野を拓けるのが目的です。

①与保呂小学校国際交流行事

「インターナショナル与保呂フェスティバル」(平成26年5月)

②余内小学校国際理解教室(平成26年11月)

③倉梯小学校「ワールド教室」(平成26年10月)

④東舞鶴高等学校国際文化コース異文化理解講座

(平成27年2月)

特色ある国際教育を行っている東舞鶴高等学校国際文化コースの異文化理解講座の講師として派遣されました。例年行っている初級中国語講座・中国文化講座に加え、本年は初の試みとして「水餃子」の調理実習を実施しました。中国においては、共に餃子を作り食べることが家族や友人との絆を深めることなのだと言われました。



▲水餃子の調理実習にチャレンジ!

(4) 市民団体等への出前講座

市民団体等への出前講座は依頼内容に応じて講座の内容を考えます。母国の中国文化であっても全く詳しくない分野であれば、事前準備として勉強する必要性がありました。そのことは、結果として母国の文化を見つめ直し、日本語を通じて発信する力につながり、大きく成長させていただいたと思っています。

①「論語を楽しむ会」における大連・中国文化講座(平成26年5月)

②「詩吟の会(神心流尚道館)」における漢詩・中国文化講座(平成26年11月)

③市民自主勉強会「モナミゼミ」における「崔の見た舞鶴・日本」講座(平成26年11月)

④舞鶴ロータリークラブ例会における卓話「今しか作れない思い出を！」(平成27年2月)

⑤東田辺自治会例会における「中国から見た舞鶴」講座(平成27年3月)

2. 国際交流員としての「受信」業務

舞鶴で勉強して身につけた知識や、舞鶴について私がどのように感じ、理解しているかということをごんごん外部に紹介することは、私にとって大きな成長の機会となりました。発信することを前提にした「受信」業務だと思います。

(1) クルーズ客船寄港対応

回数：10回

概要：本年、飛躍的に増加した京都舞鶴港へのクルーズ客船寄港に対応しました。とりわけ外国クルーズ客船が寄港した際には、ふ頭や駅など、人流の要となるポイントにおいて通訳案内を務め、また、邦船の寄港時においても、府民がクルーズ客船に親しむための「見学会」で案内案内を務めました。舞鶴に来られたお客さんにまちの魅力を伝えていくお手伝いができたかなと思っています。



▲舞鶴の魅力を伝えるお手伝い

(2) 「海フェスタ京都」業務への従事

回数：2回

概要：今夏、舞鶴市で開催された「海フェスタ京都」では多数の船が寄港し、市民が海に親しむ機会が創出されました。「日本丸」「海王丸」等の日本を代表する練習帆船の寄港時には、寄港歓迎式典の業務に従事しました。個人的には、業務を通じて様々な種類の船を知ることができて良かったと思います。

(3) 京都府国際交流員ブログへの舞鶴紹介記事の寄稿

回数：2回（春・秋）

概要：京都府国際交流員が共同で運営するブログに、自身の活動や舞鶴市の紹介を行う記事を寄稿しました。折しも舞鶴市では「海フェスタ京都」が開催されており、開催時のまちにあふれる熱気と、その中で私自身が仕事し、生活してきた様子を、できるだけその楽しさが伝わるようにと願いながら、執筆しました。

(4) 中国との経済交流支援

①舞鶴市内中小企業の海外販路開拓支援（平成26年9月）

概要：舞鶴市内の介護福祉企業と共に大連市を訪問し、大連の介護福祉市場の視察や、政府機関との人脈構築を行う支援を行いました。

②大連中日投資展示商談会への参加（平成26年10月）

概要：京都舞鶴港振興会と共に大連市を訪問、標記商談会における出展業務及び大連市政府機関・現地企業との会合を通じた関係構築を支援しました。

一年を振り返って、皆さんに丁寧に育てて頂いて、こんなにも多くのことをやり遂げて、充実した一年間を過ごすことができ、楽しく、且つ、大変勉強になりました。とても可愛がっていただいた舞鶴市民の皆さん、指導していただいた職場の上司・同僚の皆さんに心からお礼を言いたいと思います。舞鶴の猛暑は舞鶴人の情熱のようですし、舞鶴の厳寒は舞鶴人の強い意志を育ててきたのではないのでしょうか。変化に富んだ気候とともに、沢山の美しい思い出が胸に深く刻まれました。いつの日か再び思い出すときには、きっと心から笑顔が溢れることと思います。

これから大連に戻っても、舞鶴の記憶はずっと心の片隅にあります。舞鶴市民の皆さんとどこかでお会いできた時は、舞鶴の思い出話に花を咲かせましょう！

皆さん、お元気で！



▲クルーズ船寄港前に「おもてなしクリーンキャンペーン」に参加し、ゴミ拾いをしました

第 28 回 大連国際マラソンに参加して

選手兼監督 北村 有 史



2015年5月9日、舞鶴市代表3名が友好都市である大連市の「第28回大連国際マラソン大会」に招待され、私も参加させて頂きました。

大会前日の5月8日に日本を经ちましたが、不安と楽しみが交じった複雑な気持ちで搭乗した事を思い出しています。到着後は大連市の運転手さんやガイドさんの案内でコースの下見や準備をして過ごしました。大会当日は、会場に乗り込んだものの、受付場所、更衣室、トイレ等の場所も分からず、言葉も通じずうろたえてしまいました。しかし、運転手さん、ガイドさん始め、

現地の方々のご協力で無事にスタート地点に立つ事ができ、スタート前には安堵と期待から笑みが自然にこぼれました。

号砲が鳴り、走り続けていくと沿道から「^{シヤヨウ}加油！加油！」と大声援が送られ、自分自身にとって大きな追い風になりました。しかし、自分の走りとしては15km過ぎに既にペースが落ちたし、長く苦しいレースという感覚が大きかったです。結果は、目標だった2時間50分に対して3時間6分。終わった後には、事前練習ができなかった悔しさが募りました。結果については納得ができませんでしたが、それでも本当に心に残るレースになりました。それは、舞鶴市代表として職場や所属しているランニングクラブチームの方々から激励や、現地の温かい応援やおもてなしのおかげで42.195kmを走りきれた感動があったからだと思っています。



レースを含め大連にはわずか3日間の滞在期間でしたが、海外マラソンを走るという初めての体験や、3日間中国語も全く分からない私たちを案内してくれた運転手さんとガイドさんとの別れもあり、帰国時は3日間の体験が思い出されて寂しい気持ちにもなりました。しかし、今となっては、マラソンという競技を通して一期一会の出会いや交流が持てた事に対して本当に嬉しい気持ちが強いです。

最後に、私自身は今後も大連マラソンに参加したいです。また、同時に多くの舞鶴のランナーの方にも今回の私たちの経験や感動を共有して頂きたいとも思います。私見ですが、例えば舞鶴市の方から「赤レンガハーフマラソン大会」に大連市民に参加して頂くような取り組みがあっても面白いのではないかと思います。マラソンに限らずスポーツを通して交流できれば、お互いをより身近に感じるきっかけになります。スポーツとは、本来自分自身が楽しむ為にあると思っておりましたが、今回のような取り組みを通して、国境を越えた市民同士の結びつきを強められる大きなツールにもなり得る事に気付きました。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

最後に、私自身は今後も大連マラソンに参加したいです。また、同時に多くの舞鶴のランナーの方にも今回の私たちの経験や感動を共有して頂きたいとも思います。私見ですが、例えば舞鶴市の方から「赤レンガハーフマラソン大会」に大連市民に参加して頂くような取り組みがあっても面白いのではないかと思います。マラソンに限らずスポーツを通して交流できれば、お互いをより身近に感じるきっかけになります。スポーツとは、本来自分自身が楽しむ為にあると思っておりましたが、今回のような取り組みを通して、国境を越えた市民同士の結びつきを強められる大きなツールにもなり得る事に気付きました。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。



各種ホームページの紹介

姉妹都市・友好都市のホームページや海外安全情報などのホームページを紹介します。
いろいろな情報の検索に便利ですので、ぜひご利用ください。

<http://www.nakhodka-city.ru/>

ナホトカ市のホームページです。ナホトカ市の歴史・教育・産業・経済自由区や観光案内などを検索することができます。(ロシア語・一部英語版あり)

<http://www.dl.gov.cn/>

大連市のホームページです。大連市の概要・投資ガイド・観光案内などについて検索することができます。(英語・中国語・日本語版等)

<http://www.portsmouth.gov.uk/>

ポーツマス市のホームページです。観光案内・市役所の仕事などについて検索することができます。(英語版)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省のホームページです。在外公館のニュースや安全情報を検索できます。(日本語・英語版等)

<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

舞鶴市のホームページです。姉妹・友好都市との交流や市政全般の情報を検索することができます。(多言語自動翻訳システムを導入)

<http://www.npomia.com/>

NPO法人舞鶴国際交流協会のホームページです。在住外国籍市民との交流や支援などを中心に活動を展開しています。

<http://www.port.maizuru.kyoto.jp/>

一般社団法人京都舞鶴港振興会のホームページです。京都舞鶴港の概要や定期航路、クルーズ客船、港湾施設等についての情報が掲載されています。

国際交流 2015年

—平成27年国際交流報告書—

2016年(平成28年)3月 印刷

発行 舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課
〒625-8555 京都府舞鶴市北吸1044
TEL 0773-66-1037

印刷 株式会社 モトキ